



こどもホスピス芸術学校



2022 年度 報告書

主催：認定 NPO 法人あっちこっち

助成：中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ”2022・公益財団法人ノエビアグリーン財団



- 理事長 -
厚地美香子

あっちこっちとは

あっちこっちは、東日本大震災をきっかけに 2011 年に設立した芸術を通じた社会貢献事業を行う団体です。「日常生活の中で、気軽に芸術を楽しめたら良いのに…」そんな思いで私たちの活動はスタートしました。私たちの主催するコンサートやワークショップで人々に笑顔を届けるのは若い優秀な芸術家たち。彼らと一緒に、もっと色々なところへ芸術を届け、笑顔になる人達をさらに増やしたいという思いで活動しています。

活動の特徴

あっちこっちのイベントは、ただ鑑賞するだけではなく、体験型になっており、一緒に参加して楽しめる内容になっているところが大きな特徴です。どんなことも出会い（入口）が大切です。より多くの方に芸術って楽しいなと思っただけなら、アーティストが近い距離で全員が主役になって楽しめるような工夫をしています。

理念	アートでまちとひとを元気にします。
ミッション	地域社会と芸術家をつなげることで、地域の課題を芸術の力で解決します。
ビジョン	日常生活の中で身近に、芸術を見たり、聴いたり、体感したりすることでさまざまな人が、共に楽しく元気に生活することの出来る社会。
バリュー	芸術には、あらゆる垣根をこえて、人の心を動かし、勇気づけ、癒し人々をつなげる力があります。

主要事業について

－ こどもホスピス芸術学校 －

横浜市金沢区にある「横浜こどもホスピス～うみとそらの」で開催。学校に通えない難病の子どもに芸術を通して新しく学びながら楽しむ時間をお届けしています。

－ 子ども食堂とアート体験 －

元ドヤ街である横浜市寿町で毎月 1 回開催。SDGs ゴール 1 “貧困をなくそう” の「子どもの貧困問題」を広い視点から考え、子ども食堂という「食の支援」とアート体験による「心の支援」を行っています。

－ アート・フォー・コミュニティ (AFC) 「麦田芸術大学」 －

アーティストとコミュニティがタッグを組み協働で行うプロジェクト。麦田芸術大学は横浜市中区麦田町にて芸術を通じた居場所づくり事業として 2021 年度よりスタートしました。

－ 国際交流 －

日本と海外のアーティストによる芸術を通じた社会貢献事業。子どものためのワークショップや被災地でのプロジェクトを行っています。

－ 被災地支援 －

被災地へ赴きカフェコンサートをしたり、復興公営住宅やこども施設へボランティアによる手作りお菓子を届けています。

こどもホスピス芸術学校とは

治療や入院のため、学校に行くことが出来ず、こどもホスピスを利用している子どもたちに、一人一人の病状や彼らの学びたいという興味・希望に合わせて、音楽・美術・ダンスの各分野、またそれをコラボレーションした「授業」をプロのアーティストが行うプロジェクトです。芸術を通して楽しく学んだり、その子の可能性を広げることにより、子どもの輝く時間を家族と一緒に共有しています。2021 年度より本事業が始まりました。

こどもホスピスとは

こどもホスピスは病気とともにある子どもと家族が、第二のおうちのように一緒に安心して過ごせる場所であり、病気のために諦めていた「やってみたい」を叶えられる場所です。日本のこどもホスピスは欧米諸国より遅く、2012 年に淀川キリスト教病院にこどもホスピス病棟ができ、独立したホスピスとしては、2016 年大阪で開設された TSURUMI こどもホスピスが最初の施設です。本事業の拠点である「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」は 2021 年 11 月にオープンし、独立したこどもホスピスとしては全国 2 カ所目の施設です。

事業背景

当団体が NPO 法人化する以前の市民団体の時から旧知である、病児を持つ家族の支援をしている NPO 理事長から命に限りがある子どもとその家族の現状を聞き、彼らに芸術体験を提供する必要性、また有効性を伺いました。その後当法人は芸術を通じた社会貢献活動をミッションとして NPO 法人、そして認定 NPO 法人へと 9 年以上の活動実績を重ねてきました。神奈川県内初のこどもホスピスが開設され、今までの実績をこの芸術学校で活かせる時が到来し、本事業がスタートいたしました。

1 年目（2021 年度）の活動

①研修会への参加

②ヒアリング

難病の子どもの為の宿泊施設など、7つの施設・団体にヒアリングを行いました。

認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト、りらの家、社会福祉法人「訪問の家 朋」、神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ、横浜市多機能型拠点 郷、特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン、チャイルド・ケモ・ハウス

③試運転

こどもホスピス芸術学校、地域向けイベント

これまでの流れ

	2021年度	2022年度	2023年度
こどもホスピスとの連携	→		
研修会参加	★ 7月	★ 2月	★ 7月
ヒアリング	→		★ 2月、3月
試運転	→		
こどもホスピス芸術学校		→	
地域向けイベント		★ 9月	★ 12月 ★ 3月

実施内容

今年度は個別授業を14回、ご利用者様に向けたイベントを2回、地域向けイベントを3回行い、関係施設にヒアリングに伺うほか、こどもホスピスに関する研修会に参加しました。

①個別授業

個別授業では、子どもだけではなくご家族や友人と一緒にすることもあります。



- 音楽 -

脊髄小脳変性症の音楽が大好きな女の子。一緒に歌ったり、指一本で演奏できる簡単な曲をピアニストと一緒に楽しみました。レッスンでは右手だけの演奏が、その子の弾きたいという気持ちから左手が鍵盤へ。お母さまは、最近では自らあまり手を動かそうとすることがなかったのにと感激されていました。今では複数回のレッスンを楽しみ、多くの曲を演奏できるようになりました。

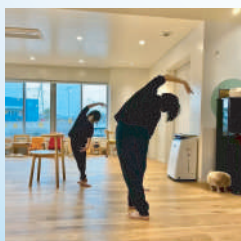
お誕生日に音楽をプレゼント。お子さんのお誕生日はもちろん、友達の誕生日をお祝いしたいというご依頼をいただきました。アーティストとオンラインで友達はどんな音楽が好きかなど打ち合わせをして、一緒に音楽をプレゼントしました。



「横浜こどもホスピス」
News Link オンライン映像

- 美術 -

白血病の4歳の女の子と8歳のお兄ちゃん。等身大のお絵描きがしたいとご依頼いただきました。大きな紙に寝っ転がってもらい、身体に沿ってクレヨンで型を描き、出来上がった形を観察してどんな動物に見えるか想像力を膨らませ、色を塗りました。海の生物が大好きな兄妹だったため、まるで水族館のように海の生物でいっぱいの作品になりました。人見知りと聞いていましたがとても積極的に参加してくれました。



- ダンス -

心臓病の女の子。バレエを習ってみたいとご依頼いただきました。酸素の投与が必要で疲れやすいけれど、心臓の為にも定期的な運動や筋トレなどは必要とのことで、体調に気を付けながらレッスンを行いました。バーレッスンを行った後、振り付けを2曲行いみんなの前で発表しました。

- オンライン -

急遽こどもホスピスに来れなくなったお子さんに、お菓子の楽器の作り方や、一緒に演奏できる動画をお届けしました。また、クリスマスにはこどもホスピスご利用のご家族がオンラインで集まり、クリスマスの曲と一緒に楽しみました。



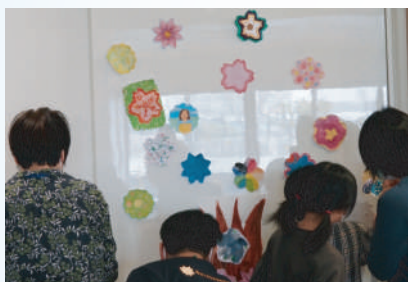
－ グリーフカフェ －

グリーフケアとは死別の悲しみへのケアのことです。天国にお子さんが旅立たれたご家族が参加しました。自己紹介やお子さんのお話を参加者で共有した後、アーティストが参加者全員のリクエスト曲を演奏しました。リクエスト曲はお子さんが好きだった曲で涙を流されている方もおり、後ろから見ていてどの曲がどなたのリクエスト曲か分かるほどみなさんの想いが伝わってくる時間でした。



②地域向けイベント

多くの方にこどもホスピスを知ってもらい、地域に開かれた施設へするため、地域向けイベントに出演しました。



うみとそらのおうちにお花を咲かせよう！

美術家が絵のレクチャーを行い、参加者はお花の形をした紙に色を塗り、思い思いのお花を描きました。お花を木の絵に貼り、みんなで大きな木にお花をたくさん咲かせました。ワークショップ中はヴァイオリンとピアノの生演奏で会場の雰囲気を和らげ、できた作品を見ながらミニコンサートを行いました。イベントの最後にはこどもホスピスの見学会がありました。

③ヒアリング

世界で最初の英国のこどもホスピスと日本初の大阪のこどもホスピスへ現地視察を行いました。

視察先：

ロンドン交響楽団 LSO ディスカバリー、
ドレイク・ミュージック（イギリス）、
こどもホスピス・ヘレンハウス（イギリス）、
TSURUMI こどもホスピス（大阪）、
チャイルド・ケモ・ハウス（兵庫）



英国では施設内に音楽や美術を学べる学校があり、ドクターとも連携してプログラムを作っている。日本では音楽室や楽器はあるがどう使ったら良いか分からないなど、ハードはあるがソフトがないという状況が多いということが分かりました。

2022 年度活動アーティスト

●参加アーティスト

青木佑磨 (ピアノ)

石河美和子 (美術)

大久保初音 (ヴァイオリン)

大辻紗羅 (美術)

小鹿紡 (作曲・ピアノ)

瀬尾愛永 (ピアノ)

高橋結希 (バレエ)

中野亜維里 (ソプラノ)

西村麻里 (ピアノ)

浜野与志男 (ピアノ)

早坂なつき (ピアノ)

藤川玲菜 (ソプラノ)

若狭英雄 (ピアノ)

●プロジェクトリーダー

檜原いちご (フルート)

水沼洋華 (美術)



活動支援について

「こどもホスピス芸術学校」は助成金や寄付金により運営しています。
この活動を長く続けていくために皆様に応援していただけますと幸いに存じます。
私共の活動に賛同して下さる方は、ぜひこちらの QR コードから寄付についての
ページをご覧ください。当法人への寄付金は、最大 50%の税控除が受けられます。



寄付の詳細は
こちらから

2023 年度の取り組み

これまでの活動を踏まえ 2023 年度は以下の内容を中心に取り組みます。

①より充実したこどもホスピス芸術学校の運営

- ・どの分野の講師も共有できる、子ども一人一人の授業カルテを作成し、事例や経験を積み重ねます。授業の積み重ねにより様々なプログラムができ、一人一人に合ったより良い授業を提供します。
- ・こどもホスピスをご利用のお子さんは急な入院や治療が入ることがありスケジュールが直前まで分からないことがあります。こどもホスピスからの急な依頼に対応できるアーティストバンクのリスト作成を行います。

②地域向けイベントへの出演

- ・こどもホスピスの認知度は、医療従事者でも知らない方がいるほどまだまだ低いです。多くの方にこどもホスピスを知ってもらい、地域に開かれた施設へにするお手伝いをします。

③少しの身体の動きで反応し演奏ができる電子機器教材の開発

- ・どのような病状の子どもでも自らの意思で楽器を演奏できることによる達成感や、子どもの可能性を広げることができるようになることを期待し、英国のこどもホスピスで授業を担当している英国の芸術団体ドレイク・ミュージックからレクチャーを受け開発を行います。

今後の展望

現在全国でこどもホスピスを立ち上げるプロジェクトが行われています。全国に展開されるこどもホスピスに本事業のプログラムを導入できるような仕組みづくりを行えるように考案しています。

①全国のこどもホスピスが活用できるツールやプログラムの作成

- ・このプロジェクトを日本のこどもホスピス芸術学校の先駆けとして、今後全国で展開されるこどもホスピスに導入するためのノウハウを映像などを含めて作成し公開します。

②病院や施設などとの連携

- ・治療や入院のため、こどもホスピスに来られない子どもも授業を受けられるように、こども医療センターなどの病院や障がい児施設と連携します。

③本事業を継続するためのファンドレイジング活動

- ・助成金に頼らずに運営継続するために、寄付や協賛会社を得るためのファンドレイジングの方法を学び、実行します。



音楽・アートで笑顔を!



私たちは人と人とアートでつなぎ、
コミュニティを笑顔にします。

認定 NPO 法人あっちこっち



認定NPO法人あっちこっち

〒231-0852 神奈川県横浜市中区西竹之丸61-5
090-1261-1308

<https://www.acchicocchi.com/>